

2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
理科	科学と人間生活(1A)	2		本校教員・スクーリング講師
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。 ・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。 				
教科書名	高等学校 科学と人間生活	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 37 時間	レポート添削指導	全 6 回	
	標準面接時数 8 時間	メディア減免時数	4時間	
定期試験	あり	年間・学期 1 回	評価割合	定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	物質の科学①	5月10日
2	物質の科学②	5月25日
3	生命の科学①	6月10日
4	生命の科学②	6月25日
5	熱や光の科学	7月10日
6	地球や宇宙の科学	7月25日

面接指導(スクーリング)		
時間数	学習内容	実施日
1	ガイダンス、物質の科学 振り返りと基本事項	4月15日
2	プラスチックの特徴、プラスチックの分類と用途(1),(2)	4月16日
3	さまざまなプラスチック	4月17日
4	金属と人間生活、金属とその精錬(1),(2)	4月22日
5	金属のさびと合金	4月23日
6	資源の再利用	4月24日
7	身近な繊維、繊維の構造と染色	4月30日
8	天然繊維、化学繊維	5月1日
9	食品中のおもな栄養素、炭水化物(1),(2)	5月7日
10	タンパク質、脂質、その他の栄養素	5月8日
11	物質の科学 まとめ	5月13日
12	生命の科学 振り返りと基本事項、タンパク質の働きと構造	5月14日
13	遺伝子とDNA、タンパク質の合成	5月15日
14	血糖値の調節、血糖濃度と糖尿病	5月20日
15	病原体の排除(1),(2)	5月21日

16	ヒトの視覚(1),(2)	5月22日
17	身近な微生物、微生物の発見	5月27日
18	生態系内の微生物(1),(2)	5月28日
19	微生物の利用、食品と微生物(1),(2)	5月29日
20	医薬品と微生物、微生物の利用の広がり	6月3日
21	生命の科学 まとめ	6月4日
22	熱や光の科学 振り返りと基本事項、温度と熱運動	6月5日
23	熱容量と比熱(1),(2)、熱の伝わり方	6月10日
24	仕事や電流と熱の発生	6月11日
25	エネルギーの移り変わり、エネルギー資源の有効活用	6月12日
26	光の発生と速さ	6月17日
27	光の反射・屈折、光の分散、光の散乱、光の回折・干渉・偏向	6月18日
28	電磁波の種類とその利用(1),(2)	6月19日
29	熱や光の科学 まとめ	6月24日
30	地球や宇宙の科学 振り返りと基本事項、日本列島のなりたち	6月25日
31	火山活動と地表の変化、火山災害と防災	6月26日
32	水のはたらきと地表の変化(1),(2)、気象災害と防災	7月8日
33	太陽と太陽系、太陽を構成する天体	7月9日
34	太陽と人間生活(1),(2)、天体の動き、太陽と月の動き(1)(2)、太陽の動きと太陽歴	7月10日
35	地球や宇宙の科学 まとめ	7月15日
36	総まとめ	7月17日
37	総まとめ	7月22日

試験		
試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月19・20日
追試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月25・26日